

平成 29 年 9 月 4 日

平成 29 年度京都府総合防災訓練参加報告

一般社団法人 関西地質調査業協会 京都支部

関西地質調査業協会は、平成 29 年 9 月 3 日（日）に京都府八幡市の市民スポーツ公園で行われた平成 29 年度京都府総合防災訓練に参加致しました。本年度は、生駒断層の直下型地震と局地的豪雨による複合災害を想定したもので、近畿地方整備局や自衛隊、府警など約 70 機関が参加致しました。我々協会員は、府内関係諸団体や企業の方々とともに防災啓発展示に参加しました。昨年に引き続き液状化発生装置や津波発生装置を用いた会場での模擬実験や斜面災害や豪雨災害のパネル展示を行いました。また、来場者には広報誌 Geo や協会発行誌「日本ってどんな国」等を配布するなどして協会活動をアピール致しました。液状化発生装置を使った実験では、小学生から一般の方々まで多く市民の方々が装置の前に群がり興味深く防災委員の説明に耳を傾けていました。また、会場に掲示した地質図や都市圏活断層図にも多くの方々が興味を示され、自分の自宅位置を図上確認しながら支部役員に説明を求める風景が度々見受けられました。今年も当協会活動が地域防災活動に寄与する有意義な催し参加となりました。

本年度の防災訓練参加にあたり（協）関西地盤環境研究センター関係者並びに当協会役員、技術委員、京都支部役員の皆様々のご協力を賜りましたことをこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



写真 1 関西地質調査業協会の展示ブースを視察する京都府山田知事



写真 2 展示ブース内で説明を聞く見学者



写真 3 自宅位置を地質図上で確認する見学者



写真 4 地盤の液状化の説明を聞く見学者



写真 5 液状化実験装置を興味深く観察する小学生



写真 6 津波発生の説明を聞く見学者



写真 7 訓練に参加した協会関係者及び
関西地盤環境研究センター関係者